

「生駒市スマートシティ構想(案)」に対するパブリックコメントにおける意見及び市の考え方

番号	意見箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
1	その他	現在、多数の方がスマホを持っています。又、高齢者でもかなりの割合で持参していますので市民への情報伝達はスマホを主に考えても構わないと思います。その上で、スマホ画面は小さい、TV画面との連動表示が出来るような方法が出来るようなシステムを構築して欲しい。更にスマホも操作できない様な方には、朝TVをつけたら、市等からの情報が優先して表示出来るような補助装置システム構築出来ないか？簡単なWiFiを取り付けで可能と思います。更に進化させTVへの生駒市民チャンネルを、Wi-Sunネットワーク等を構築して出来ないか？このシステムを自治会別に応用出来れば、電子回覧版がTV通じて可能になるのではないかな？	構想に基づく具体的な取り組みにつきましては生駒市DX推進アクションプランで定める予定ですので、そちらのご意見としてお伺いさせていただきます。	原案の通りとします。
2	その他	鹿ノ台地区のような比較的区切られた地域では、自動運転車でドアtoドアの自動送迎も比較的容易に出来るのではないかな？ゴルフカートの様な車でも十分かと思えます。	担当課にご意見をお伝えさせていただきました。担当課と共に、国の動向や他自治体の事例を参考にし、費用対効果を勘案しながら生駒市としてどのような地域公共交通を整備していくべきなのか検討していく予定ですので、その際の参考にさせていただきます。	原案の通りとします。
3	p.7	構想全体の方向性については異存ありませんが、具体的にどのようなデータをどのように管理し、活用していくかについての記載が不足しているように見受けられます。市役所各部署で管理しているデータにはどのようなものがあり、それぞれどのようなレベルで保護・公表すべきものか、データ間での連関や重複がどこにあり、どのように正規化して効率的な利用を進められるか等、あらかじめデータベースの専門家と連携して整理した上で、合理的かつ柔軟にデータの利用環境を整備してほしいと考えます。	本構想は、分野横断的に進めるスマートシティ政策の指針として趣旨や理念等の全体像を定めており、具体的な取り組みにつきましては生駒市DX推進アクションプランで定める予定ですが、12ページの原則、特に「プライバシーの確保」や「相互運用性とオープン性の確保」といった観点から、オープンデータの推進に取り組むこととしています。	原案の通りとします。
4	その他	■情報発信・ネットワーキングのプラットフォーム もっと多くの市民が参加・利用できるような情報やネットワーキングのプラットフォームを作れるといいなと思います。今も様々な取り組みが動いていると思いますが、もっとポテンシャルがあるのではと思います。ハードルを下げ、もっと気軽に沢山の人がつながり、情報を受け取り、(発信したい人は)発信できる場ができるといいなと思います。	PIAZZAというアプリを利用して、市民の方々が気軽に情報を受け取ったり、発信できるプラットフォームを運用しています。また、Liqidという行政と市民の方々が意見交換できるプラットフォームも運用を予定しており、今後どのような分野で利用するか等を検討の上、お知らせしていきたいと考えております。	原案の通りとします。
5	その他	■モノ・スキルの循環・シェアリング・リサイクルの仕組み お互いに必要なモノやスキルを共有し、循環・シェアリング・リサイクルする仕組みがあるといいなと思います。大阪市中心部に住んでいた際は、何かあればすぐに梅田まで買い物に行って何でも買えましたが、生駒市ではそうではありません。かといって、仕方なしに安物・間に合わせのものを買うのも、サステナブルではありません。そこで、上記の仕組みを作ってはどうかと考えました。また、スキルについても、大阪のベッドタウンとして様々なスキルを持った人が多数いる土地だと思しますのでそれぞれが自分の得意分野のスキルを提供し合える暮らしが作れるといいなと思います。	PIAZZAというアプリを利用して、市民同士でモノの譲り合いや情報の交換等ができるプラットフォームを運用しています。構想に基づく具体的な取り組みにつきましては生駒市DX推進アクションプランで定める予定ですので、スキルの提供につきましては、そちらのご意見としてお伺いさせていただきます。	原案の通りとします。

番号	意見箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
6	その他	<p>■地域通貨や地域ポイントの導入 情報流通・ネットワークや、モノやスキルの共有を促進するために地域通貨や地域ポイントを導入してはどうでしょうか。 こういった仕組みがあれば、多くの市民を巻き込むためのインセンティブにもなるはずですし、新たな出会いやコミュニティ内での経済の循環にもつながるはずです。</p>	<p>構想に基づく具体的な取り組みにつきましては生駒市DX推進アクションプランで定める予定ですので、そちらのご意見としてお伺いさせていただきます。</p>	<p>原案の通りとします。</p>
7	その他	<p>■リアル・デジタルの統合 デジタルの取り組みを個別的にやるのではなく、リアルな場とデジタルプラットフォームを融合させられるといいなと思います。リアルな場とは、例えば駅やコミュニティセンター、図書館、商店街などをイメージしています。普段はデジタルでつながりつつ、時々リアルでさらっと顔を合わせ、気が合ったら深く付き合う、ような色々なモード・スタイルのコミュニケーションが重層的に生まれるといいなと思います。現在は、まだ試行段階だからか、個別的・単発的な取り組みが多いように感じます。</p>	<p>構想に基づく具体的な取り組みにつきましては生駒市DX推進アクションプランで定める予定ですので、リアルとデジタルの融合につきましては、その考えを踏まえて取り組みを検討させていただきます。</p>	<p>原案の通りとします。</p>
8	p.7 p.11	<p>「解決が必要なまちの課題／まちの環境」で示されているように、市民の交通手段としては自動車が広く用いられている。しかし、今後高齢化が進むと、免許書返納により自動車を利用できなくなる人口が増えるのは明確である。自動車に代わる手段として路線バスが考えられるが、昨年9月に奈良交通より「大幅な赤字となっている市内5路線については、利用者が少なく採算性が低いため、現状のままの運行を継続することは困難な状況である」との提案があり、1月21日に路線バス廃止についての説明会がもたれ、廃止の延期の説明がなされたが、現実の利用者数から考えると、将来廃止もやむを得ない状況である。しかし、廃止になると、高齢者の通院、買い物などの生活の基盤が奪われることになる。説明会で廃止後の対策を検討するとの報告があったが、このスマートシティ構想の中でも重要課題として検討を頂きたい。一部の地域ではコミュニティバス「たけまる号」が運行されているが、やはり利用乗客は少ないのが現状である。従来の路線バスのような発想では、この問題の解決にならない。カーシェアリングなどの新しい解決策を構築されなければならない。「スマートシティ構想(案)」にもカーシェアリングの「けいはんなNAISMoN」の紹介があるが、これは運転ができる者の間のカーシェアリングであり、運転免許書返納者が利用できるカーシェアリングシステム(デマンド交通システム)の構築の検討を始めてほしい。デマンド交通システムについてはすでに日本の各地で実地されている例がある。是非、生駒市でもスマートシティ構想の重要な柱として取り上げて頂くことを希望する。デマンド交通システムには解決しなければいけない多くの問題点があると考えられる。例えば、デジタルに不慣れな高齢者にどのように普及するかなどがあるが、交通難民を出さない方策を行政と市民が一体となって、問題検討をすぐにでも始めて頂きたい。</p>	<p>担当課にご意見をお伝えさせていただきました。担当課と共に、国の動向や他自治体の事例を参考にし、費用対効果を勘案しながら生駒市としてどのような地域公共交通を整備していくべきなのか検討していく予定ですので、その際の参考にさせていただきます。</p>	<p>原案の通りとします。</p>

番号	意見箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
9	その他	<p>今回『スマートシティ構想(案)』についてのパブリックコメントを募集されているが、意見を寄せられた人はどのぐらいいるであろうか。生駒市ホームページに別の意見募集の結果が公開されていたが、そのケースは1名であった。生駒市はこれまでも多くの機会で市民の意見を募集されてきたと思うが、多くの意見が寄せられたことは少ないのではないだろうか。意見が寄せられることが少ない理由の一つは意見募集があることを知らない場合が多いことである。市がホームページで告知しても、市民はいつもホームページをチェックしているわけではないからである。</p> <p>二つ目としては、意見を持っていても、それを投稿するには敷居が高い場合である。その解消法を提案したい。今回の場合を例に取れば、折角「スマートシティ構想の策定過程」として市民のオンラインの対話集会在3回開催され、対面の会も開催されたのである。参加者の一人としての意見であるが、オンラインの対話集会是参加者から積極的に発言があり、盛り上がったと思うが、会が終われば、それで終わりであった。交流のツールとしてLiquidがあり、参加者の書き込みも行われていたが、何かを作り上げることを目指しての議論の場としては機能していなかったように思われる。参加者に、メールアドレスの登録をお願いし、今後の行事の案内の送付の承認をもらってれば、今回のパブリックコメントに関して、その人達からの意見を出して頂いた可能性があるのではないかと思う。私個人もパブリックコメントの募集がいつかあると思っていたが、いつから始まるかは分からなかった。そして、参加者のグループが形成され、市民が『スマートシティ構想』について話し合える場が形成されていれば、意見を投稿する敷居が低くなったのではないかと思う。私個人としてもグループの形成を試みたが、諸般の事情でグループとして意見提出に至らなかった。</p> <p>生駒市の第5次総合計画に「市民が主役となってつくる、参画と協働のまち」がうたわれているが、このことを成立させることは非常に難しいことであるが、スマートシティ構想がその実現への先導役になって頂くことに期待したい。</p>	<p>意見募集の方法については、「パブリックコメント手続の手引き」で定められています市のホームページだけではなく、TwitterやPIAZZA等SNSでも周知を行いました。</p> <p>また施設等での閲覧・配布につきましても、定められています8施設に加えまして3施設にも追加配架して周知を行いました。</p> <p>12ページの原則のとおり、生駒のまちに関わる・関わりたいと思っているすべての個人や組織との協働によって、スマートシティの構築を目指すこととしております。施策に取り組むにあたっては、この考えのもと、ご期待に添えるよう努めてまいります。</p>	<p>原案の通りとします。</p>

番号	意見箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
10	p.7	<p>「スマートシティ構想(案)」を拝見させていただきました。拝見して全体として感じたことを書かせていただきます。個別の事項に関しては別途送付させていただきます。スマートシティ構築に向けての方針が示されたことは素晴らしいことと思います。</p> <p>ただ「1.6目指す姿の実現に向けて、解決が必要なまちの課題」に対しての「02 スマートシティの実現に向けた取組」の間にギャップがあるように感じます。例えば、課題として挙げられた「デジタルディバイドへの対応」に対しての具体的な方針が示されていません。</p> <p>これから「2.5スマートシティの推進体制」で検討していられることと思いますが、解消を目指すのはいつか、1期ではどこまで進み、2期ではどこまで進む計画なのかなどのタイム・テーブルが欲しいところです。</p> <p>大阪府能勢町のスマートシティの取り組みで、「デジタルディバイドへの対応」として地元の事業者がデジタルよろず相談所を各自治会へ出張開催し、高齢者の相談にのることで、健康チェックのデジタルバンドの普及が進んだと言う報告がありました。生駒市では「複合型コミュニティー」が推進されています。その動きと連動した計画が作られればと思います。「デジタル利用環境の整備」として、自治会館をDX化し、フリーWiFiや自由に使えるPCの設置なども考えられます。「社会的課題の潜在化」に関しても、どのような方針で社会的孤立者を見出していか難しい問題ですが、ただ項目として挙げるだけでなく、具体的にどのように一歩を踏み出すのか示して欲しいと思います。そして解消へのタイム・テーブルが欲しいところです。</p> <p>「行政サービスの品質向上」は是非やって頂きたいことです。今は医療費の控除申請も窓口に行くことになっています。市役所の多くの業務がデジタル化することは可能と思います。「生駒市DX推進本部」を早く立ち上げ、業務の見直しを進めて頂きたいと思います。それもいつまでに実行するかのタイム・テーブルが欲しいところです。</p> <p>「奈良先端科学技術大学院大学との連携」に関して、先端大には情報科学領域があります。人材育成、研究開発など多くのことで協力関係を進めてほしいと思います。「ためしば」は使わせて頂いていますが、普及が進んでいないと思います。私はお願いして「Liquid 生駒版」・「ピアッツァ 生駒版」の項目を追加してもらいました。このように市民の要望が先端大へも届く体制を作って頂くとうれしいです。「3.2スマートシティ構想の策定過程」が示されています。今後もZoomあるいは対面の市民の討議の場を設定して頂き、引き続き「生駒の中で「循環」が生まれる」・「やりたいことが「応援」される」・「「つながり」を自分で選べる」の実現に向けて市民が意見を交流できる場を作って頂けることを期待しています。そのことが血の通ったスマートシティの実現に近づけることになると思います。</p>	<p>構想に基づく具体的な取り組みにつきましては生駒市DX推進アクションプランで定める予定ですので、そちらのご意見としてお伺いさせていただきます。</p> <p>複合型コミュニティーとの連動につきましても、その考えを踏まえてアクションプランで取り組みを検討させていただきます。</p>	<p>原案の通りとします。</p>

番号	意見箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
11	その他	<p>Smart Utility: 防災/見守り/安心安全/情報伝達の観点からの、「独立電源通信表示見守り電灯」システムの構築をしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成: 公園等に設置した耐震支柱に、ソーラー等発電機能、蓄電池、情報発信機(WiFi、衛星通信可能)、見守り監視センサー、情報表示板、LED電灯、電気自動車用や公園利用電源等を備える。近隣のWifi通信停止に備え、衛星通信機能も有する。見守り監視用にはビーコン、防犯カメラ等具備。 ・太陽電池は従来のシリコン系だけではなく、日本独自のペロブスカイト系で構成。フィルム状で使用でき、またシリコンとヘテロ接合して発行効率を大きくすることができる。 ・常時機能: ネットサーフィンで遊ぶ、イベント等情報告知板、認知徘徊者や子供、ペットなどの見守り監視、公園イベントでの昼間電源、夜間LED街灯、電気自動車用や公園使用音響機器などのイベント用電源に使用。人が集まり交流が促進される楽しい場となる。 ・非常時機能: 災害時などライフライン停止、ネット普通などが発生したとき、人が情報を求め、電気を求め、WiFi等通信を求めて集まる。安心の居場所になる。 	<p>構想に基づく具体的な取り組みにつきましては生駒市DX推進アクションプランで定める予定ですので、そちらのご意見としてお伺いさせていただきます。</p>	<p>原案の通りとします。</p>
12	その他	<p>Smart Mobility: 坂のある高齢地域での住民の外出機会を促進する「暮らしに優しい小規模異動システム」の構築(グリーンスローモビリティなど)をしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代は規模の大きい輸送から、きめ細やかな人にやさしい/環境にやさしい小さな移動システムを求めている。大きな公共交通からコミュニティバス、さらには「小さな自動運転交通」への移行。すなわち、近距離/少人数/低速/裏通りを行く福祉性の強い自動移動システムは時代の流れであり、それを構築する。 ・環境にも優しく、今の時代背景に適する「グリーンスローモビリティ」(グリスロ)は、全国で試験運行されており、生駒市にあった形で導入する。グリスロは2~10人乗りなど種々の型があり、地域の実状に合わせて利用する。 ・利用形態 <ul style="list-style-type: none"> (a)ドアtoドア福祉送迎システム: 生駒市は坂が多く、買い物や通院、サロンなどに行きたいが足腰の弱い高齢者向けに、4人乗り程度の小さな車で、きめ細やかな福祉の利用をする。 (b)準公共的利用形態: 従来よりも裏通りまで走行する柔軟な時刻/ルートの利用形態(~10人未満で運行) (c)グリスロ-シェアリングシステム: 校区単位または数校区にわたる利用方法でこどもから高齢者まで摘要されうる。 ・このように時代適合性の高いグリスロなどの(準)自動運転走行システム導入は急務と思われる。 ・乗降補助や買物搭載補助のため、当面は運転助手が同乗する準自動運行で開始し、経過をみて完全自動運行に移動と考えている。 	<p>担当課にご意見をお伝えさせていただきました。担当課と共に、国の動向や他自治体の事例を参考にし、費用対効果を勘案しながら生駒市としてどのような地域公共交通を整備していくべきなのか検討していく予定ですので、その際の参考にさせていただきます。</p>	<p>原案の通りとします。</p>

番号	意見箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
13	その他	<p>Smart Inclusion: 学童から高齢者まで、社会的孤立者の早期発見、見守り、サポートを行う包摂的地域コミュニティの構築をしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包摂的地域社会の構築: 地域の支えあいや活動や、社会的孤立の早期検知をICT技術を応用して、社会的包摂地域の実現をはかる。 ・近年、自治会加入率の低下と共に、近隣での交流が欠如し、支え合いの輪が失われつつある。日頃の支え合いの輪を推進することで、住民の困り事を知り、助け合い、それにより自然と自治会加入率も向上する。 ・(事例) (a)地域のボランティア団体「支え合い委員会」等が中心となり、自治会と共に「困り事」を全戸的調査、それを整理し支援重点者を特定してサポートしていく。「傾聴」や「コミュニティーナーシング」の手法を用いて、支援者と接する。 (b)大学機関と協力し、社会的孤立気味の人を医学的・心理学的なアンケートや、個人宅に配備したセンサーをとおして検知し、地域や大学機関と連携する。 (c)「百の複合型コミュニティー」の制度を活用し、近隣間の子ども～若者～高齢者の輪を創る。集会所や公園に「居場所」を創り、交流を図る。活力ある地域を小さな輪から創っていく。 	<p>スマートシティはデジタル技術やデータを活用したまちづくりのことですので、それらで対応できることにつきましては、構想に基づく具体的な取り組みを定める予定の生駒市DX推進アクションプランのご意見としてお伺いさせていただきます。</p>	<p>原案の通りとします。</p>
14	その他	<p>Smart network: 迅速情報伝達/交流促進/支えあい/安否確認などのかんてんからの「市内・自治体ネットワーク」の構築をしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒市全体のネットワーク(BWA)をつくと共に、各自治会など地域のネットワークと連携する。 ・「結ネット」は、情報の迅速伝達、双方向、記録性、セキュリティに優れる。スマホベースだが、PC、タブレットも使用可能で大画面でも楽しめる。 ・紙媒体を減少またはなくし、高齢者が紙回覧物を回すことがない地域を、電子回覧で実現。当面、紙媒体と電子媒体の共存となる。 ・公の紙媒体広報紙(いこまち等)も、希望者は廃止の方向にし、資源資金の節約を図る。 ・結ネット参加者同士の連携で、支え合い、助け合いや、新たなプロジェクトもできる。人やペットの行方不明捜索にも効果を発揮する。 ・災害モードで迅速安否確認ができる。 ・結ネットと他の市販アプリを連結し、見守りなど機能を拡大できる。 IoT見守り電球のアプリと連動、その他の見守りや送迎アプリと連携できる。 ・警察や救急と連携して、見守りの幅を広げることができる。 ・商店街と連携して、地域を盛り立てる。 	<p>構想に基づく具体的な取り組みにつきましては生駒市DX推進アクションプランで定める予定ですので、そちらのご意見としてお伺いさせていただきます。</p>	<p>原案の通りとします。</p>

番号	意見箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正内容
15	その他	<p>鹿ノ台をスマートシティのモデル地区として取り組んでいきたい。</p> <p>・(取組事例)</p> <p>(a)脱炭素社会の取組として、電気自動車、太陽光パネルの設置を推進したい。</p> <p>(b)デジタルディバイド解消にむけたPC・スマホ・タブレット使用可能者の増加を目指す</p> <p>(c)移動困難者への交通手段としてドアtoドア福祉送迎システムを構築したい。</p> <p>(d)高齢者、子供の見守り(GPS)システムを構築したい</p> <p>(e)各集会所、いきいきホールの予約・管理・監視システム(e古都なら)の利用を拡大したい</p> <p>(f)上記の活動の為、資源物個別回収事業等での財源確保対策</p> <p>(g)託児ボランティア、ケアマネージャーの支援による地域の支え合い支援の輪を拡大したい</p> <p>(h)LINEグループでの回覧情報掲載による電子回覧板対応でのペーパーレス化</p>	<p>構想に基づく具体的な取り組みにつきましては生駒市DX推進アクションプランで定める予定ですので、そちらのご意見としてお伺いさせていただきます。</p>	<p>原案の通りとします。</p>
16	その他	<p>未来の生駒市を担う子供の育成を軸としたスモールシティを実現したい</p>	<p>スマートシティ構想との関係性が不明瞭であったため、ご意見を反映させていただき箇所がございませんでした。</p> <p>ご意見として、お伺いさせていただきます。</p>	<p>原案の通りとします。</p>